

参加のお誘い

第5回斜面防災世界フォーラム（WLF5）2020，京都 仙台地すべりパートナーシップ 2015-2025 の推進と評価 -仙台防災枠組み 2015-2030 と持続可能な開発目標(SDGs)への自発的貢献-

WLF5（京都）の開催 – 2021年11月2日～6日，国立京都国際会館

第5回斜面防災世界フォーラム(The Fifth World Landslide Forum: WLF5)が，2021年11月2～6日に京都市で開催されます（COVID-19の世界的流行により2020年11月から1年延期になりました）。

地すべり・崩壊・落石など斜面での土砂移動による災害は，豪雨・融雪・地震や人為的地形改変などで地球上至る所で起こる災害です。WLFは，世界各国での斜面災害軽減に関する取り組みについての情報交換やネットワーク形成，研究促進を目指して，The International Consortium on Landslides（国際斜面災害研究機構）が，支援機関である国連教育科学文化機関（UNESCO），国連防災機関（UNDRR）などと共に2008年から3年毎に各国で開催している国際会議です（参照：WLFの取り組み）。第4回WLF（スロベニア）には49か国約608人の参加がありました。参加者の専門分野も，理学・工学・農学などさまざま境界領域の多面的な議論が行われます。

WLFの取り組み – 新たな「京都地すべりコミットメント2020」の構築

The International Consortium on Landslides（ICL）では，2015年国連防災世界会議（仙台）で，2025年までの斜面災害を減らす技術者・研究者・行政官や市民による取り組み実施を宣言しました。2020年はその中間年として，取り組みの成果や課題をレビューし，11月にはオンラインで世界の90機関の署名を得て，2025年以降も続く地すべり危険度軽減のための世界的な枠組み「京都地すべりコミットメント2020」（KLC2020）を発効させました。WLF5は，日本での斜面防災対策やその技術を各国に知って頂く格好の機会であるとともに，各国でのさまざまな斜面災害軽減技術や多国間の共同研究の現状，発展途上国の災害状況やニーズなどを知る貴重な機会にもなります。

WLF5への参加の方法とテーマ

WLF5では，1)下記に示す6つのテーマごとの論文発表セッション（英語，査読あり），2)フォーラム主催機関や参加グループ・団体が提案する電子プロシーディングスセッション，3)スポンサーとして，機器展示・広告などの企画があります。これに加えて，4)1ページアブストラクトと，5)電子ポスターによる発表も開催することになりました。一方で，もちろん，発表無しでの参加も歓迎致します。

KLC2020に関連して国際ジャーナル“Landslides”の2020年10月号/11月号が出版され，2021年10月/11月号はWLF5特別号として出版される予定です。特別号の論文の著者はWLF5にて20分間の招待講演を行います。また，フルカラー本（6冊）は2021年1月に出版され，電子プロシーディングスも間もなく出版予定です。著者はWLF5にて15分間の口頭発表を行います。

1ページアブストラクトでは，個人での発表の他，6名以上でのセッション提案を2021年2月28日まで受け付けます。1頁の発表要旨（図・写真・表は無し）を6月30日までに提出ください。原稿が受理されればWLF5にて10分間の口頭発表を行います。電子ポスターはA0サイズのポスター原稿を2021年6月30日までに提出し，受理されれば3分間の口頭発表が可能です。1ページアブストラクトと電子ポスターは，希望により当日の発表無し（WLF5への参加なし）の投稿も可能です（登録費は必要）。

WLF5 組織委員会提案のテーマ

テーマ1：仙台地すべりパートナーシップと京都地すべりコミットメント

テーマ2：マッピングからハザード・リスクゾーネーションまで

テーマ3：計測と早期警戒

テーマ4：試験，モデリングとリスク評価

テーマ5：大災害を引き起こす地すべりと最先端の地すべり科学

テーマ6：地すべり科学とその応用に関する個別課題，日本地すべり学会による電子プロシーディングセッション

世界津波の日イベント（2021年11月5日）

会議での口頭発表は，出版形式によらず，各テーマ/セッションのコーディネーターが，発表時間（15分/編）の割当，プログラム編成を行います。また，COVID19感染拡大に鑑み，オンライン発表も併設予定です（ハイブリッド会議方式）。

準備日程と参加費

日 程	年	2020		2021									
	月	9-10	11-12	1-2	3	4 - 6	7	8-10	W	L	F	5	
ジャーナル特別号(21 年 11 月号)		論 文 提 出 / レ ビ ュ ー				レ ビ ュ ー / 出 版			招 待 講 演				
フ ル カ ラ ー 本				出版						招待/一般口頭発表			
電 子 プ ロ シ ー デ ィ ン グ				出版						一 般 口 頭 発 表			
1 ペ ー ジ ア ブ ス ト ラ ク ト		セ ッ シ ョ ン 提 案			1 頁 要 旨 提 出		レビュー	プログラ ム 作 成	口頭発表 (10分)*				
電 子 ポ ス タ ー (A 0 サ イ ズ)		ポ ス タ ー 提 出						プログラ ム 作 成	口頭発表 (3 分)*				
パ ネ ル 展 示 (1 2 0 0 m m × 2 1 0 0 m m)		150,000 円/件 (聴講者チケット 2 名分を含む) のパネル展示 申 込 み が 2 0 件 に 達 し た と こ ろ で 締 切							展示室B-1 中央 にてパネル展示				
登 録	1 頁 要 旨 / 電 子 ポ ス タ ー	早 期 登 録				通 常 登 録							
	そ の 他	早 期 登 録				通 常 登 録		遅 延 ・ 当 日 登 録					

論文の提出方法と期限: <http://wlf5.iplhq.org/call-for-papers/> * 1 頁要旨と電子ポスターは、発表無し or 不参加も選択可。

登 録 区 分	出 版 費	登 録 期 間			
		早 期 登 録	通 常 登 録	遅 延 ・ 当 日 登 録	
フルカラー本/電子プロ シ ー デ ィ ン グ	28,000 円 (学生 26,000 円)	38,000 円 (学生 0 円)	43,000 円 (学生 5,000 円)	48,000 円	
1 頁 要 旨 / 電 子 ポ ス タ ー	-	31,000 円 (学生 26,000 円)	36,000 円 (学生 31,000 円)	-	
聴 講 者	-	21,000 円	26,000 円	31,000 円	

登録費に、フルカラー本の Vol.1, 電子プロシーディング, 1 頁要旨, 電子ポスターが含まれます。参加登録者は、フルカラー本 (Vol.1-Vol.6) を希望により 1 冊 5000 円で購入できます。レセプション・ランチは、含まれません。発表の連名者は非発表者扱いとします。詳細は WLF5 の HP をご覧ください。(<http://wlf5.iplhq.org/registration/>)

スポンサーおよびパネル展示の募集

第 5 回斜面防災世界フォーラム組織委員会では、WLF5 の実施及びその際採択される京都コミットメントとさらなる斜面防災分野の発展促進 (発展途上国参加者の支援など) のためスポンサーシップをお願いしています。スポンサーおよびパネル展示をご検討の方は、特典などについて WLF5 のホームページをご覧ください。

<http://wlf5.iplhq.org/host-and-sponsors/>

<https://wlf5-jp.iplhq.org/wp-content/uploads/2020/07/第5回斜面防災世界フォーラムプレティン2020.7.27.pdf>

お願い 参加希望者は、下記のアドレスから事前登録を行ってください。WLF5 事務局からの案内メールはここで登録されたアドレスに送られます。発表希望者、スポンサーをご検討の方に加え、非発表の参加者も、事前登録をお願い致します。

<http://wlf5.iplhq.org/preliminary-registration/>

その他 :世界津波の日 (11 月 5 日) の特別行事: 日本の外務省が 2015 年に作成した国連総会の書類には、津波の原因として海底火山の噴火、沿岸や海底での地すべり、地震による地殻変動の 3 つがあげられています。そこで、第 70 回国連総会本会議で採択された 11 月 5 日には、特別セッションとして地すべり津波と WLF5 に参加する世界的権威による地すべり早期警戒に関する講演・パネル討論などを開催予定です。

WLF5 にかかる連絡先 第 5 回斜面防災世界フォーラム事務局 Email: wlf5-sec@iclhq.org 電話: 075-723-0640

主催: 第 5 回斜面防災世界フォーラム組織委員会

共催: (特非) 国際斜面災害研究機構、国際斜面災害研究計画・地球規模推進委員会、京都大学、(公社)日本地すべり学会、(公社)地盤工学会、日本自然災害学会、(一社)斜面防災対策技術協会

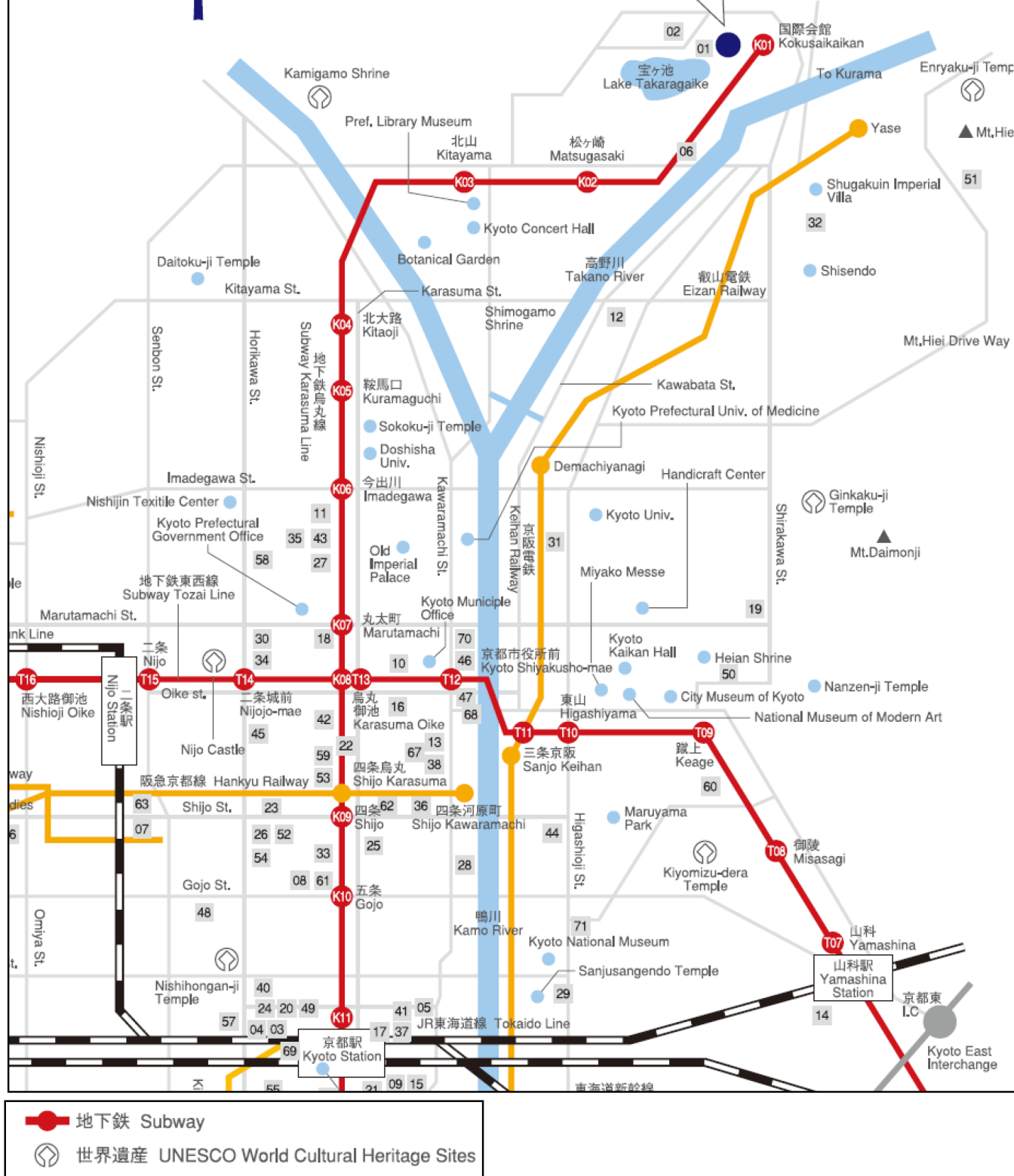
後援: 内閣府政策統括官 (防災担当)、外務省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、日本学術会議、(独)国際協力機構、(公社)土木学会、(公社)農業農村工学会、(公社)砂防学会、(一社)日本応用地質学会

組織委員会: 委員長: 佐々恭二、副委員長: 賀馨、檜垣大助、東畑晴生、幹事長: 渦岡良介、小長井一男、カン・ダン

背景写真(上-下): 磐梯山の崩壊(石川晴和撮影)、パキスタン地震での地すべり(檜垣大助撮影)、Bergün, Switzerland(早川裕弐撮影) 2021年 7月13日 版

第5回斜面防災世界フォーラム プログラム

2021年	時間	イベント		
11月2日 (火)	9:00			
	16:00	参加登録	ICL/IPL代表者会議	
	18:00			
11月3日 (水)	9:00	開会式		
	10:00	ハイレベルパネル討論 KLC2020のレビューと今後の方向		
	12:00			
	13:30	特別講演		
	15:30	F.Guzetti (イタリア政府):地すべりの原因と予測, Charles NG (香港理工大学大学院): 土石流と構造物による対策の相互メカニズム		
	15:45			
	17:00	業績紹介・授賞式		
	18:30			
	21:00	歓迎レセプション		
	11月4日 (木)	9:00		
9:30		ICL-KLC2020 政府間円卓会議	パラレルセッション (発表)	ブース・パネル展示
12:00				
17:00				
18:00				
11月5日 (金)	9:00	世界津波の日特別行事, 地すべり津波特別講演	パラレルセッション(発表)	
	17:00			
	18:00			
11月6日 (土)	9:00	パラレルセッション(発表)		
	12:00			
	13:30	特別講演		
	15:30	M.Jaboydoff(ローザンヌ大学): 岩盤崩壊評価, B.Collins(アメリカ地質調査所): 大規模地すべり-進捗と教訓		
	17:00	閉会式		
11月7日~9日		地すべり現地視察(京都-広島-雲仙-熊本, 外国人向け)		



Email: wlf5-sec@iclhq.org, URL: <https://wlf5.iplhq.org/>